

## ●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

### ——バイオメトリクス小特集

(和文論文誌 A) 論文募集——

バイオメトリクス小特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の小特集 (平成 25 年 12 月号) として、「バイオメトリクス」を企画しました。バイオメトリクスは、パターン認識の応用として研究開発がなされてきており、近年では、セキュリティへの応用を念頭に置いた技術開発が急激に進展しています。これに伴い、パターン認識、メディア情報処理の研究者に加え、情報セキュリティ、物理セキュリティの研究者もバイオメトリクスの研究を担っています。バイオメトリクスは、センサ、アルゴリズム、実装、システム構築、サービスまで広範にわたる技術領域に関連するため、境界領域を含む大きな研究分野を担っております。本小特集企画では、バイオメトリクスに関する理論から応用までの幅広い研究成果を集積し、最新の技術動向及び今後の技術開発の方向性を展望したいと考えています。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

#### 1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが、これらに限らず、広くバイオメトリクスに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

- ・指紋、虹彩、顔、静脈、掌紋、耳介、歩容、ジェスチャ、筆跡、声紋、マルチモーダルバイオメトリクスに関する認識・認証技術、及び、それらに関する画像信号処理・パターン認識技術
- ・テンプレート選択・更新、スマートカード実装、大規模認証、テンプレート保護、生体検知、システム設計
- ・サーベイラス、アクセスコントロール、エンターテインメント、決済などへの応用
- ・データベース、性能評価、プロトコル、ベンチマーク・標準化
- ・犯罪や災害時の個人同定

#### 2. 論文の投稿規程及びフォーマット

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理しませんので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」([http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html)) を御覧下さい。また、<http://www.ieice.org/eng/ads.html> にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

#### 3. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

- (1) 電子情報通信学会 Web サイト [https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) を使って投稿して下さい。ソサイエティ/特集では [特集 JA] バイオメトリクス小特集を選択して下さい。[一般 JA] 基礎・境界は選択しないで下さい。
- (2) 登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したものの

メール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

#### 【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内  
FAX [03] 3433-6692, E-mail: wabun-a@ieice.org

#### 4. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 12 日 (火) 必着

投稿者チェックリスト・著作権譲渡書がこの期日までに学会事務局に届くようにして下さい。

#### 5. 採否判定通知

著者には平成 25 年 8 月下旬までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

#### 6. 問合せ先

伊藤康一 東北大学大学院情報科学研究科  
TEL [022] 795-7169, FAX [022] 263-9308  
Email: ito@aoki.ecei.tohoku.ac.jp  
※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

#### 7. 小特集編集委員会

委員長 中西 功 (鳥取大)  
編集幹事 伊藤康一 (東北大)  
編集委員 今岡 仁 (NEC), 大木哲史 (早大), 梶川嘉延 (関西大), 鷺見和彦 (青学大), 高野博史 (富山県立大), 高橋健太 (日立), 西内信之 (首都大東京), 西垣正勝 (静岡大), 村松大吾 (阪大), 山崎 恭 (北九州市大)

### ——ワイドバンドシステム小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

ワイドバンドシステム小特集編集委員会

基礎・境界ソサイエティ英文論文誌では、平成 26 年 1 月号に、ワイドバンドシステム小特集を企画致しました。

情報通信におけるワイドバンドシステム全般に関する論文を広く募集致します。募集テーマは下記のとおりですが、特にその分野を特定するものではありませんので、多数の御投稿をお待ちしております。

#### 1. 対象分野

- ・ワイドバンドシステム一般  
グリーン通信、高速電力線伝送システム・モデリング、高速 xDSL 通信、ITS、スペクトル拡散技術、マルチキャリア技術、OFDM 技術、ウルトラワイドバンド (UWB) 技術、カオス通信、光通信、可視光通信、ソフトウェア無線技術、デジタル TV 技術、無線 LAN 技術など
- ・ワイドバンドシステムのための通信方式・信号処理  
変復調方式、同期捕捉、同期追尾、符号、送受信装置、多重アクセス技術 (CDMA, SDMA, TDMA, FDMA, またその複合技術)、信号処理技術、モデリング、測距技術、MIMO 技術など
- ・ワイドバンドシステムのためのデバイス・モジュール・装置  
同期回路、低消費電力化技術、モデム、アンテナ、アンプ (PA, LNA など)、LSI 設計・試作、高速動作技術など

#### 2. 論文の執筆と取扱い、投稿方法

投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) で行えます。論文は刷り上がり 8 ページ、レターは 2 ページ以内を原則とします。学会ホームページ

ジの“Information for Authors”に記載された様式で原稿の準備をお願いします。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を論文投稿締切日までに下記送付先（編集幹事）までメール添付、FAX、郵送のいずれかの手段でお送り下さい。その他の詳細は <http://www.ieice.org/eng/shiori/index.html> で閲覧できます。査読後の再提出期間（通常 60 日）を短縮する場合がございますので、あらかじめ御了承下さい。採録された全ての論文・レターに関して、掲載別刷代を請求致します。掲載別刷代は、<http://www.ieice.org/eng/shiori/appb.html> にて閲覧できます。

### 3. WBS 学生奨励賞

採録された論文の中から優れた内容のものにはワイドバンドシステム（WBS）研究専門委員会から WBS 学生奨励賞を贈呈致します。受賞論文の対象は、第一著者が学生であるものに限ります。

### 4. 論文投稿締切 平成 25 年 3 月 15 日（金）必着

#### 5. 小特集編集委員会

編集委員長 佐々木重信（新潟大）

幹事 小野文枝（NICT）、藤井雅弘（宇都宮大）

編集委員 井家上哲史（明大）、伊丹 誠（東京理科大）、岩切直彦（東大）、大内浩司（静岡大）、落合秀樹（横浜国大）、片山正昭（名大）、亀田 卓（東北大）、佐藤慎一（モバイルテクノ）、齋藤将人（琉球大）、眞田幸俊（慶大）、清水昌彦（富士通研）、庄納 崇（インテル）、高橋 賢（広島市大）、滝沢賢一（NICT）、羽瀨裕真（茨城大）、浜村昌則（高知工科大）、前原文明（早大）、宮嶋照行（茨城大）、村田英一（京大）、森 香津夫（三重大）

#### 6. 問合せ先及び送付先

WBS 研究専門委員会幹事 藤井雅弘

宇都宮大学大学院工学研究科情報システム科学専攻

〒321-8585 宇都宮市陽東 7-1-2

TEL & FAX [028] 689-7118

E-mail: [fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp)

Web site: <http://www.ieice.org/~wbs/>

#### 7. 付記

本小特集に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。また、全ての著者が会員であることを推奨致します。入会につきましては下記 URL を参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

## ——知的環境を実現するセンサネットワークの 基盤と応用技術論文特集

（和文論文誌 B）論文募集——

知的環境を実現するセンサネットワークの基盤と  
応用技術論文特集編集委員会

実空間に存在する人やモノ、あるいは実空間それ自体の状態をセンシングする機器同士をネットワーク化するセンサネットワークは、研究ターゲットが初期の研究段階から応用技術に向いつつあり、その実現環境も、センサ機能を搭載したタブレット端末、スマートフォンの普及や、IEEE802.15.4g/e による省電力無線デバイスの標準化により、徐々に整いつつあります。

論文特集原稿募集

一方、センサネットワークの応用として、センサネットワークにより得られたデータを処理・解析して、人の活動を拡張・強化あるいは補完・補助する知的環境が、スマートグリッド、スマートシティなどの実現に向けて注目を浴び始めています。

本特集（平成 25 年 12 月号）では、こうした背景を踏まえて、知的環境を実現するセンサネットワーク基盤技術と応用技術にフォーカスを当てております。センサネットワークの特徴・利点を生かして、知的環境を構築する際の技術課題、及びその課題を解決するためのアイデアの知見や、実際の応用例やそのキー技術などを論文として発表して頂くことにより、センサネットワークの社会活用への一例として知的環境へ貢献する優れた創意工夫を共有し、今後のセンサネットワークの発展・並びに社会活用への促進に寄与することを目的としております。

なお、本特集では、センサネットワークに携わる分野であれば、知的環境に直接関係する技術論文に限らず、その実現を支えるセンサネットワークの基礎技術の投稿も歓迎致します。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

#### 1. 対象分野

センサネットワークに寄与する技術、それを用いて知的環境を実現する技術に関する論文を募集致します。例えば以下のような技術項目を含みます。

##### a. センサネットワークを支える理論に関する研究

情報理論、通信理論、信号処理、制御理論、分散処理、分散制御など

##### b. センサネットワークの要素技術に関する研究

フュージョン、トポロジー、リソース管理、プロトコルデザイン、無線タグ技術、無線マルチホップ技術、アドホックネットワーク技術、オートコンフィグレーション技術、モビリティサポート技術など

##### c. センサネットワーク・プラットフォームに関する研究

デバイス／アプライアンス技術、RFID、省電力デバイス、低電磁干渉、超小形デバイスの最適設計、制御・管理技術、基盤ソフトウェア技術、ミドルウェア技術、スマートスペース技術、サイバーフィジカルなど

##### d. センサネットワークと知的環境に関連する技術

センサデータベース、コンテキスト適応技術、データマイニング、位置情報技術、ストリーム処理、セキュリティ・プライバシー保護技術、ビッグデータ、学習・信号処理

##### e. センサネットワーク・アプリケーションに関する研究

災害救助、娯楽、環境計測、自動制御、生活支援、医療支援、コンテキスト適応型アプリケーション、位置適応型アプリケーション、実空間指向アプリケーション、ロボットなど

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

#### 3. 主なスケジュール

投稿締切：平成 25 年 3 月 4 日（月）厳守

最終判定予定：平成 25 年 7 月下旬

発行月：平成 25 年 12 月号

#### 4. 投稿方法

(A) 郵送

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡

書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

#### (B) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

#### 【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内  
E-mail: wabun-b@ieice.org, FAX [03] 3433-6616

#### 5. 特集編集委員会

委員長 大槻知明 (慶大)  
幹事 塩川茂樹 (神奈川工科大), 内田大誠 (NTT)  
編集委員 岡田 啓 (名大), 若宮直紀 (阪大), 張 兵 (NICT), 松井 進 (阪工大), 森野博章 (芝浦工大), 山本尚生 (東京都市大), 梅比良正弘 (茨城大), 内藤克浩 (三重大), 五十嵐悠一 (日立), 今田美幸 (NTT)

#### 6. 問合せ先

内田大誠 (NTT 未来ねっと研究所)  
〒239-0847 横須賀市光の丘 1-1  
TEL [046] 859-2369, FAX [046] 855-1497  
E-mail: usn-an-2013@mail.ieice.org

### ——サステイナブルな社会の実現に向けた ネットワーク・システム技術小特集 (英文論文誌 B) 論文募集——

#### サステイナブルな社会の実現に向けた ネットワーク・システム技術小特集編集委員会

近年、エネルギー、流通、医療、農業等の様々な分野で、通信ネットワークを核とした ICT 技術の社会基盤としての役割が高まっています。サステイナブル (持続可能) な社会の実現には、省エネルギーや環境への配慮、高いロバスト性等の新しい視点からの無線/有線ネットワーク技術が必要になり、Green by/of ICT, スマートグリッド, M2M (Machine-to-Machine) 通信、可視化、ロバストネス、高信頼ネットワーク等の研究開発が盛んに行われています。「サステイナブルな社会の実現に向けたネットワーク・システム技術」小特集 (平成 25 年 12 月号) では、サステイナブル社会の実現に向けたネットワーク技術及びシステム技術の提案や新発見、及びネットワーク技術を用いたサステイナブルな社会の実現・応用技術などについての論文を広く募集します。多数の方々からの積極的な御投稿を期待しております。

#### 1. 対象分野

- ・Green by/of ICT
- ・スマートグリッド
- ・データセンターのグリーン化

- ・可視化
- ・次世代・新世代ネットワークのグリーン化、高信頼化
- ・サステイナビリティを考慮したネットワーク技術、システム技術
- ・サステイナブルな社会実現に向けたネットワーク・アプリケーション技術
- ・M2M (Machine-to-Machine)
- ・省電力ルータ
- ・ネットワーク仮想化
- ・ロバストネス、耐故障性
- ・センサネットワーク
- ・有線・無線ネットワーク機器グリーン化
- ・SDN (Software-Defined Network)
- ・高信頼ネットワーク

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とし、原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_cs.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

#### 3. 投稿方法

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) より登録を行って下さい。なお登録時には必ず “Type of Section (Issue)/Transactions” で “[Special-EB] Network and System Technologies for Sustainable Society” を選択して下さい。[Regular-EB] を選択しないで下さい。

手順 2: 印刷した “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” 及び “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” にサインをしたものを、論文投稿締切日である平成 25 年 3 月 14 日 (木) 必着で以下の書類送付先に到着するように、メール、FAX、または郵送にて送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

#### 4. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 14 日 (木) 必着

#### 5. 書類送付先及び問合せ先

萬代雅希 上智大学理工学部情報理工学科  
〒102-8554 千代田区紀尾井町 7-1  
TEL & FAX [03] 3238-3272  
E-mail: ns-ss2013-kanji@mail.ieice.org

#### 6. 小特集編集委員会

委員長 漆谷重雄 (NII)  
幹事 橘 拓至 (福井大), 萬代雅希 (上智大)  
委員 荒川 豊 (九大), 伊瀬恒太郎 (東芝), 内田真人 (千葉工大), 大木英司 (電通大), 太田 能 (神戸大), 上山憲昭 (NTT), 中内清秀 (NICT), 長谷川 剛 (阪大), 藤田範人 (NEC)

#### 7. 付記

- \* 締切日を厳守して下さい。郵送の場合にも締切日に間に合うようにして下さい。
- \* 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- \* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>



## ——情報通信分野における新しい情報 ネットワーク科学の展開小特集

(英文論文誌 B) 論文募集——

### 情報通信分野における新しい情報ネットワーク 科学の展開小特集編集委員会

情報ネットワークは、私たちの生活や社会を支える最重要技術として目覚ましい発展を遂げてきました。特に最近では、持続発展可能な社会を支えるインフラ技術としてなお一層の高度な要求に対応すべく、量的にも質的にも更なる飛躍が期待されています。しかし、現在の情報ネットワークは、個別の問題を解決する技術を組み合わせたパッチワーク的なアプローチによって成り立っており、背後にあるべき体系立てられた科学的な理論が欠けています。このようなアプローチを続ける限り、大規模化及び多様化に伴って増すネットワークの複雑さの前に、いずれ我々はなすすべを失ってしまうことが危惧されます。そこで、情報ネットワークを理論的に体系化し、発展させることを大きな目標として、既存のいわゆる情報通信工学を新たな観点から体系付けるような理論や技術に関する研究成果を募集致します。また、情報通信工学やその周辺分野に限らず、異種分野からの接近、数理・物理に基づく理論、生物システムの応用、計算機科学・応用数学を用いた分析など、多様な視座からのアプローチも対象と致します。以上のように、今後の情報通信分野における情報ネットワーク科学の一層の促進を目的として、本小特集(平成25年11月号掲載予定)を企画致します。

#### 1. 対象分野

情報通信分野における新しい情報ネットワーク科学の展開に関する以下の分野を対象とします。

- ・新しい情報ネットワーク科学を開拓する試み
- ・複雑システムとしての情報ネットワークに関する理論、設計概念と応用
- ・自律分散ネットワーク・自己組織化ネットワークの理論と応用
- ・Internet of Things (IoT) のような超大規模システムを扱う新しい理論と応用
- ・情報ネットワークのための新しいモデリング、評価指標、評価分析手法
- ・ネットワークコーディングなどネットワーク情報理論とその応用
- ・光・量子等の先進物理原理と情報ネットワークへの展開
- ・自然界の仕組みに学ぶ情報ネットワークの基礎理論
- ・ソーシャルネットワークとしての情報ネットワークに関する新しい理論と応用
- ・ネットワーク科学の知見に基づく新たな物理システム、具現化のための物理デバイス
- ・情報通信のための新しいエネルギー基礎理論
- ・計算機科学や応用数学に基づく新しいネットワーク分析手法

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、刷り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。レターの投稿は受け付けておりません。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_cs.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

#### 3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿

下さい。

手順1: [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Section (Issue)/Transactions”で “[Special-EB] Progress in Information Network Science” を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が受け付けられないことがあります。

#### 4. 論文投稿締切日 平成25年3月15日(金) 必着

#### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

井上 武 (独) 科学技術振興機構 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト

〒060-0814 札幌市北区北14条西9丁目

北海道大学情報科学研究科工学系 C306

TEL [011] 728-8280, FAX [011] 728-8277

E-mail: [netsci-ss@mail.ieice.org](mailto:netsci-ss@mail.ieice.org)

#### 6. 小特集編集委員会

委員長 会田雅樹 (首都大東京)

幹事 井上 武 (JST), 久保 健 (KDDI 研)

委員 浅井哲也 (北大), 石田賢治 (広島市大), 内田真人 (千葉工大), 大久保 潤 (京大), 加美伸治 (NEC), 中村 元 (KDDI), 成瀬 誠 (NICT), 長谷川幹雄 (東京理科大), 原井洋明 (NICT), 巳波弘佳 (関西学院大), 村山立人 (NTT), 若宮直紀 (阪大)

#### 7. 付記

\* 締切日を厳守して下さい。

\* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります。

\* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

## ——電子ディスプレイ小特集

(英文論文誌 C) 論文募集——

### 電子ディスプレイ小特集編集委員会

情報ネットワーク技術が次世代の基幹産業になると予測されており、それを実現するヒューマンインタフェースとして、電子ディスプレイの果たす役割はますます大きくなっています。その電子ディスプレイの原理や用途は、極めて多彩であり、また構成部材も多様性に富んでいます。現在も各種ディスプレイ技術を進展させるため、材料からシステムに至るまで幅広い研究・開発が精力的に続けられています。

今回、電子ディスプレイ分野の一層の発展を期して、小特集(平成25年11月号)を企画しました。多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

## 1. 対象分野

- ・フレキシブル、電子ペーパー、三次元、無機/有機 EL、電界放出、プラズマ、投射形、液晶、CRT などを用いたディスプレイ技術
- ・携帯用、テレビ用、デジタルサイネージ用、高臨場感用などのディスプレイシステム
- ・電子ディスプレイの基礎となる科学・技術全般
- ・ディスプレイ用材料及び部品（タッチパネル等の入力デバイスを含む）
- ・ディスプレイ作製方法、パネル製造・量産装置、測定装置、検査装置
- ・ディスプレイシステムの駆動回路、画像処理技術
- ・ディスプレイに関わる評価技術、人間工学、応用システム

## 2. 論文の執筆と取扱い

- ・本小特集では、フルペーパーとブリーフペーパーの種別のみ受け付けます。フルペーパーは原則として刷り上がり8ページ以内、ブリーフペーパーは4ページ以内（厳守）とします。執筆の詳細については、Information for Authors: [http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。
- ・一般の会議 Proceedings と比べて頁数制限が緩和されています。より一般的な研究者を対象として、詳細な記述になるよう御配慮下さい。
- ・本小特集では原著論文のみ受け付けますので、それを踏まえて原稿作成をお願い致します。（レビュー論文やサーベイ論文は受け付けません。）
- ・採録論文が小特集の予定件数を越えた場合、一般論文として掲載される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。
- ・査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。
- ・本小特集への論文投稿については、下記を御参照下さい。

## 3. 投稿方法

本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EC] Electronic Displays を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement)、仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで郵送、FAX、または電子メール添付で送付して下さい。これらの関係書類がないと査読手続きが開始されません。

## 4. 書類送付先及び問合せ先

藤田悦昌

シャープ株式会社研究開発本部材料・デバイス技術研究所第二研究室

〒277-0005 柏市柏 273-1

TEL [04] 7135-6215, FAX [04] 7135-6296

E-mail: [fujita.yoshimasa@sharp.co.jp](mailto:fujita.yoshimasa@sharp.co.jp)

(学会事務局への関係書類の送付は不要です)

## 5. 論文投稿締切日 平成 25 年 2 月 22 日 (金) 必着

## 6. 電子ディスプレイ小特集編集委員会

編集委員長 服部励治 (九大)

編集幹事 藤田悦昌 (シャープ), 新田博幸 (ジャパンディ

スプレイースト)

編集委員 志賀智一 (電通大), 小南裕子 (静岡大), 伊達宗和 (NTT コムウェア), 山口雅浩 (東工大), 山口留美子 (秋田大), 山口 一 (東芝), 小澤史朗 (NTT), 中田 充 (NHK)

## 7. 付記

\* 招待論文を含め論文採録の場合には、掲載別刷代が必要となりますのであらかじめ御了承下さい。

\* 投稿に際しては著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし、招待論文に関しては、この限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。

\* 入会の案内は、<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html> を御覧下さい。

## ——情報ストレージのための最新要素技術小特集

(英文論文誌 C) 論文募集——

情報ストレージのための最新要素技術  
小特集編集委員会

HDDはその誕生以来、多くのアプリケーションやコンテンツのデジタル保存に貢献してきており、現在の情報ストレージにおいては他に置き換えることのできないデバイスとなりました。今後も、用途の拡大が予想されること、また、エネルギー省力化の観点からも、高記録密度化への期待が従来以上に高くなるものと予想されます。しかしながら更なる高密度化達成のためには、熱安定性やSN比、記録能力の両立という難題に直面しており、それを克服する技術の確立が急務となります。そこで、今後の情報ストレージに関する最新動向の把握と、研究開発の一層の促進を目的として、本小特集 (2013年12月号) を企画致します。

## 1. 対象分野

情報ストレージに関する以下の分野を対象とします。

- 磁気記録媒体
- 記録・再生ヘッド
- 熱アシスト磁気記録
- ビットパターン媒体
- マイクロ波アシスト磁気記録
- 瓦記録
- ホログラムメモリ
- 光体積記録
- 信号処理方式
- スピントロニクス技術
- 観察・測定技術
- コンピュータシミュレーション技術
- その他関連技術

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、フルペーパーは原則として刷り上がり8ページ以内とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。ブリーフペーパーは4ページ以内（厳守）とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

### 3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で “[Special-EC] Advanced Elementary Technologies for Information Storage” を選択して下さい。“[Regular-EC] Electronics”を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

### 4. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 25 日 (月) 必着

### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

三浦健司

岩手大学工学部電気電子・情報システム工学科

〒020-8551 盛岡市上田 4-3-5

TEL & FAX [019] 621-6458

E-mail: [kmiura@iwate-u.ac.jp](mailto:kmiura@iwate-u.ac.jp)

### 6. 小特集編集委員会

委員長 中川茂樹 (東工大)

幹事 三浦健司 (岩手大), 杉田龍二 (茨城大), 吉田和悦 (工学院大)

委員 遠藤哲郎 (東北大), 五十嵐万壽和 (日立), 高岸雅幸 (東芝), 仲村泰明 (愛媛大), 山川清志 (秋田産業技術センター), 小出大一 (NHK), 山本 学 (東京理科大)

### 7. 付記

\* 締切日を厳守して下さい。

\* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。

\* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

## ——ヒューマンコミュニケーション

### ～価値ある生活環境構築のための情報技術～

### 特集 (和文論文誌 D) 論文募集——

ヒューマンコミュニケーション特集編集委員会

情報通信技術 (ICT) は急速に発展, 普及し, 我々の日常生活に欠かすことのできないものとなっています。この ICT の発展は, 日常生活と密接に関係している医療福祉や環境保全などの情報インフラ構築に恩恵をもたらしています。少子高齢化, 省エネ, ヘルスケアが目目されている現代において, この状況を生かし, 社会及び個人にとってより価値の高い生活環境を構築するための利用現場の声も反映した情報技術の研究が望まれています。

論文特集原稿募集

ヒューマンコミュニケーションの研究のカバーする分野は幅広く, 人間の感覚・心理から, 福祉, 医療など日常生活に密着した技術, 更に, マルチメディア・仮想環境から, ICT 倫理まで様々です。

このような幅広い分野を横断的に議論する必要性から, ヒューマンコミュニケーショングループでは, これらの研究分野を集めた最新の研究成果を広く会員に伝えることを目的として, 和文論文誌 D (平成 26 年 1 月号) にて特集を企画致します。本特集では, 人間の知覚, 認知, メディア処理, 人工現実感などを用いた情報環境構築のための基礎技術, 及びそれらの応用技術までの幅広い分野からの論文を募集します。ヒューマンコミュニケーションの視点から様々な技術を統一的に俯瞰することで, 価値ある生活環境構築を実現するための議論となることを期待します。幅広い分野からの多数の方々からの積極的な御投稿を期待します。

### 1. 対象分野

- ・ヒューマンコミュニケーション基礎
- ・ヒューマン情報処理
- ・マルチメディア
- ・仮想環境基礎
- ・福祉情報工学
- ・Web インテリジェンスとインタラクション
- ・先端医科学技術
- ・発達障害支援
- ・ヒューマンプロンプト
- ・バーバル・ノンバーバルコミュニケーション
- ・料理メディア
- ・人間と ICT 倫理
- ・未来世代から見たコミュニケーション科学の魅力と学習意欲向上
- ・その他ヒューマンコミュニケーション全般

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とします。原則として, 論文は刷り上がり 8 ページ以内, レターは刷り上がり 2 ページ以内とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると, 掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は和文論文誌投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日間) が短縮される場合があること, また, 採録論文数が多い場合には, 一般論文として掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

### 3. 投稿方法

投稿は, 本学会電子投稿システム ([https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx)) による電子投稿 (PDF ファイル) のみと致します。印刷物及びメールでの投稿は受け付けません。なお, 上記 Web での登録の際, “ソサイエティ/特集”は “[JD] ヒューマンコミュニケーション特集”を選択して下さい。“[一般 JD] 情報・システム”や他の特集を選択されませんよう御注意下さい。仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

### 【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

FAX [03] 3433-6616, E-mail: [wabun-dl@ieice.org](mailto:wabun-dl@ieice.org)

※郵送時は, 封筒に「ヒューマンコミュニケーション特集」を朱記して下さい。

### 4. 投稿締切日 平成 25 年 3 月 28 日 (木) 厳守

## 5. 特集編集委員会

委員長 川原靖弘 (放送大)  
副委員長 飯塚重善 (神奈川大)  
幹事 安藤英由樹 (阪大), 和田親宗 (九工大)  
委員 伊藤京子 (阪大), 伊藤昌毅 (鳥取大), 遠藤 守 (中京大), 行場次朗 (東北大), 繁榎博昭 (高知工科大), 原澤賢充 (NHK), 平山高嗣 (名大), 廣富哲也 (鳥根大), 坊垣友美 (愛知医科大), 前田義信 (新潟大), 矢野博明 (筑波大), 山肩洋子 (京大), 渡辺昌洋 (NTT)

## 6. 問合せ先

編集幹事 安藤英由樹 大阪大学  
TEL [06] 6879-7830 E-mail: hide@ist.osaka-u.ac.jp

## 7. 付記

- \* 締切日を厳守して下さい。
- \* 論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- \* 投稿に際して、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。(<<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>>)

## 本会発行図書案内

光波を深く理解するための足がかり

# 光波工学の基礎

井筒雅之 著

A5 判上製 定価 4,095 円(税込)

光エレクトロニクス、フォトリソグラフィをはじめ種々の光技術は、今や社会を支える上でなくてはならない基盤技術である。そして光技術の根幹の一つが光波工学である。様々な光デバイスやシステムの動作原理を理解し、光波利用の新しい着想を得たり、技術分野を切り開いていく上で、光波が電磁波としてどのように振る舞うのかを正しく把握しておくことが、極めて重要である。

本書ではその基礎として、光波を電磁波として捉え、マクスウェルの方程式を土台に、平面波から光波モードの概念導入までをまとめている。読者には、電気系の大学卒業程度の知識を前提とし、大学院学生、あるいは、技術分野で活躍する社会人が、これらの基礎を確かめる際に役立てばと願っている。

《内容目次》電磁波としての光波／平面波の反射と透過／多層構造における反射と透過／フーリエ解析／応答とスペクトル／光波と媒質／複屈折／回折／ビーム波／光導波現象、導波モード／放射モード、その他のモード／種々の光導波路

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費500円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**